

## 1 背景

肝炎ウイルス検査の結果、治療が必要と判定された者を適切な治療につなげるとともに、肝炎患者等に対する情報提供や、肝疾患診療連携拠点病院、専門医療機関及びかかりつけ医の連携等に資することを目的として、2012年から現行版の健康管理手帳を作成している。

本手帳は、治療法や制度の更新のために毎年改訂しているが、この度、より一層分かりやすく使いやすい手帳とするため、全面的に改訂することとした。

## 2 意見照会

- ・広島大学病院 消化器内科 中原隆志先生
- ・患者団体（広島肝友会、備後肝友会、全国B型肝炎広島原告団）

## 3 納品時期等

作成予定部数 3,000部  
 納品予定時期 令和5年3月下旬  
 配布予定時期 令和5年4月  
 配布予定先 医療機関、市町、保健所、患者団体等

## 4 主な改訂内容

ページ数	改訂内容
6	B型肝炎ワクチンに関する記述を追加。
7	感染予防として肝炎ウイルス検査の説明を追加。
10	肝疾患関連の検査項目の説明にM2BPGiとFIB-4 indexを追加。
18	核酸アナログ製剤治療からアデホビル（ヘプセラ <sup>®</sup> ）を削除。
19	感染経路について、アートメイクを追加。
22-24	最新のガイドラインの反映。ガイドラインに未掲載の慢性肝炎に対するエプクルーサ治療についても追加。
26-28	非アルコール性脂肪性肝炎に関する記述を追加。
32-33	治療薬の追加等、最新の内容に修正。
37	制度に関するインデックスになるよう、概要のページを追加。
40-65	37ページのインデックスの順になるよう制度の順番を変更。
40	広島県肝疾患診療支援ネットワークの図等を変更。
41-59	制度に関する記述を全面的に変更。 （説明の順番の統一、制度毎に関連のウェブページへの2次元バーコードや問い合わせ先の記載等。）
48	肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の対象医療を追加。 （令和5年改訂予定）
67-70	各種相談窓口の情報更新。
全体	文字の大きさ等の調整。
全体	全てを西暦記述に変更。